

人口減少時代を生き抜く過疎自治体の挑戦 ～ファンづくりから見出す地域経営～



飛騨市の概要

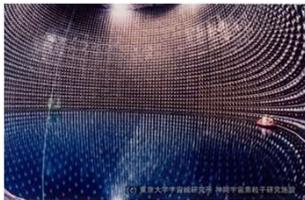
- ・平成16年2月1日に、古川町、河合村、宮川村、神岡町の2町2村が合併。
- ・岐阜県の最北端に位置し、北は富山県、南は高山市、西は白川村。
- ・人口：22,702人・高齢化率：40.00%



「古川家」のユネスコ無形文化遺産登録



イメージとして飛騨市が登場する映画「君の名は。」



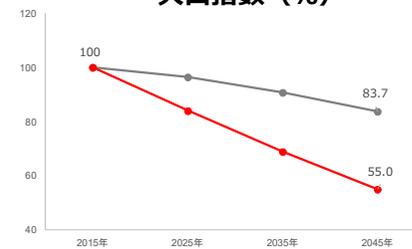
ノーベル物理学賞2名を輩出した研究施設「スーパーカミオカンデ」



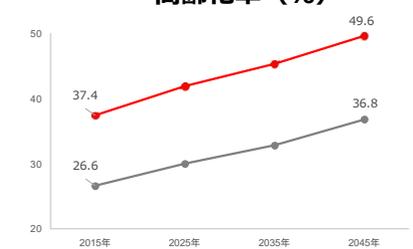
中日ドラゴンズ・根尾昂選手、「令和」を書いた茂住修身さんも飛騨市出身

『人口減少先進地』：加速する人口減少・高齢化

人口指数 (%)



高齢化率 (%)



飛騨市はこの30年で**全国の倍のスピード**で人口減少する過疎地域

飛騨市はすでに**日本の30年後を上回る高齢化率**である

※出典：総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

市としての課題解決の考え方

ポイントになるのは「**地域外の人との交流**」



「**飛騨市に心を寄せてくださる方の存在**」

観光客、大ヒットアニメ映画「君の名は。」のファンなど
飛騨市のファンは全国にいたるだろう。でも、どこにいないのか見えない…



飛騨市ファンクラブをつくろう！

ファンの見える化。連絡が取れる仕組みをつくり、
直接PRしたり、コミュニケーションをとろう！

5

楽天と連携したファンクラブの仕組みを構築



Rakuten

1. WIN-WINの関係づくり
2. お互いの強みを活かしたプロジェクトの推進
楽天グループのサービスは70種類以上
3. 話題づくりと発信力

6

なぜ楽天と連携を始めたのか？

岐阜県庁時代のつながり

2009年より楽天と岐阜県の連携を企画・運営



ネットショップ支援事業を商業振興
施策として推進

飛騨市で楽天と一緒に
面白いことを進めたい！
実のある連携事業を！



7

連携協定当日の様子



8

連携協定内容

- 1 電子マネーを活用した飛騨市ファンクラブ事業の構築と推進に関する事項
- 2 ふるさと納税の推進に関する事項
- 3 市内事業者のモバイル決済利用促進に関する事項
- 4 国内外に向けた飛騨市産品の販路拡大に関する事項
- 5 耕作放棄地の活用及び新規就農者育成に関する事項
- 6 被災時のドローン活用及び物資輸送試験に関する事項
- 7 森林の保護及び整備に関する事項
- 8 市内事業者のIT活用促進に関する事項
- 9 学校と連携したIT活用促進に関する事項
- 10 観光誘客の促進に関する事項

過去例のない
10項目の連携

全国初事例が
3件！！

9

飛騨市ファンクラブをスタート！

飛騨市に心を寄せてくださる方に見える化して、**直接コミュニケーションがとれる仕組みを構築。**



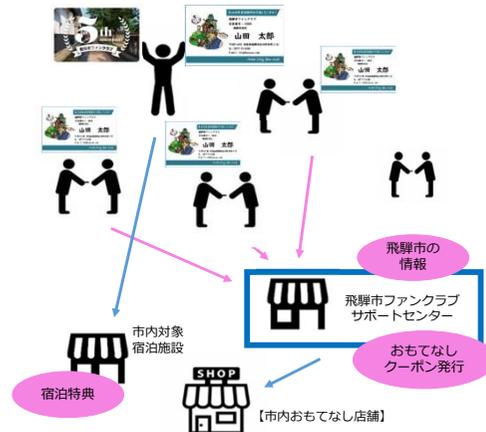
- ・2017年（平成29年1月）設立
- ・現在、9,800人を突破！
- ・No.8000までの会員証には楽天Edy機能（利用額の0.1%が楽天から飛騨市に寄附）



10

飛騨市ファンクラブの仕組み（1）

- 会員には**オリジナル会員証**と本人氏名入り**名刺をプレゼント！**
- 名刺は飛騨市のPRの為に知り合い等に配布。
- 会員は会員証、会員以外は名刺を持参して飛騨市へ来るとお得なサービスが受けられます！



11

飛騨市ファンクラブの仕組み（2）



たくさん名刺を配っていただくと飛騨市からお礼のプレゼントがあります！

- 名刺が30枚利用されたら→梅コース
飛騨市ふるさと納税返礼品「寄附金額1万円相当の特産品」から1品プレゼント！（ラーメンやお野菜など）
- 名刺が50枚利用されたら→竹コース
飛騨市ふるさと納税返礼品「寄附金額2万円相当の特産品」から1品プレゼント！（飛騨牛も！）
- 名刺が100枚利用されたら→松コース
飛騨市ふるさと納税返礼品「寄附金額3万円相当の特産品」から1品をプレゼント！（飛騨牛・地酒など約70種類からお選びいただけます）

12

飛騨市ファンクラブの仕組み（2）

令和4年6月30日時点



【会員数】 **9,850名**

- ・レギュラー会員 8,395名 (85.2%)
※飛騨圏外の方
- ・ふるさと会員 1,455名 (14.8%)
※飛騨圏内の方

【地域】		【年齢層】	
No.1	東京都 17.9%	No.1	50代 25.2%
No.2	愛知県 15.3%	No.2	40代 20.7%
No.3	岐阜県 15.0%	No.3	60代 18.6%

13

最初は会員確保に苦戦…

平成29年1月に立ち上げたが、その後2ヶ月で会員数はわずかに数十人。しかも身内ばかり。



3月の市議会で目標会員数を問われ、市長の一方的な指示で「1年間で1千人」と豪語。



月単位の計画を立てて、対策を打とうとするが簡単には増加せず、苦戦の日々が続いた。

14

SNSを活用したPRが奏功！

SNSの活用で口コミが広がり、さらに人が集まってくるといふ好循環に成功！（TVでの露出に成功）



15

飛騨市ファンクラブ会員との交流 STEP1

ファンの集いを平成29年度から開催。（東京からスタート！）
飛騨市の地酒や料理を楽しんでいただきながら、**会員同士やスタッフとの交流**を深める。これまでに東京3回、岐阜2回、大阪1回を開催。



16

都市部などではなく「飛騨市に行ける機会がほしい!」との声に応えて、「飛騨市ファンの集いin飛騨市」を開催。
地元民しか行かない焼肉店などディープな企画内容で実施。



飛騨市ファンクラブ会員との交流 STEP 2



飛騨市に行きたい! 魅力的な機会がほしい!

月刊ぷらざとコラボしてバスツアーを開催。
 参加者から飛騨市ファンを生み出す!



ふるさと納税からのファンづくりを強化

寄附申込時 ふるさと納税申込時に、飛騨市ファンクラブへの入会希望者を募り、強力な運動を図る。

自治体からのアンケート



返礼品発送時
 飛騨市ファンクラブのチラシを同梱

飛騨市ファンクラブ会員のふるさと納税寄附金額

2018年度 391件
 15,629,000円

2019年度 1,262件
 37,210,000円

2020年度 2,451件
 62,998,622円

2021年度 3,058件
 80,225,728円

ふるさと納税を活用した話題づくりとファンづくり



ファンクラブ専用のふるさと納税返礼品をつくり、出品。
 楽天(株)の特別企画であるラップバトルにも市長自らが出演し、大々的にPR。



飛騨市ファンから生まれた返礼品や事業への展開



飛騨牛朴葉味噌セット



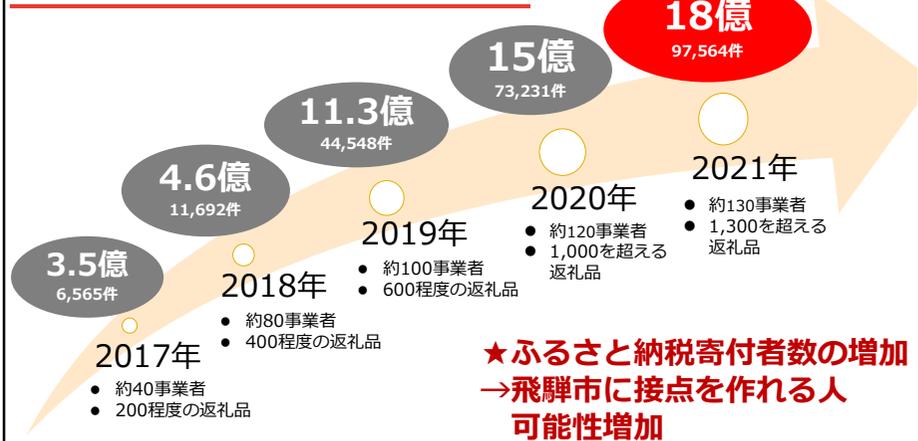
飛騨市に旅行に行って食べた飛騨牛の朴葉味噌が忘れられない…自宅でもぜひ食べたい!!!



ふるさと納税寄付者へのアンケートを実施。

飛騨市ファンクラブ事業やふるさと納税事業を更なる展開と拡充に活用

飛騨市のふるさと納税実績



コロナ禍の小売・通販支援策とファンクラブを連動



ふるさと納税等の取組からお客様との接点をつくる 自社の新規のお客様・リピーターの獲得にも展開

飛騨市ファンクラブ会員との交流 STEP 3

コロナ禍でも「飛騨市でこんなことしてみたい!」とオンライントラベルなどの持ち込み企画やご要望をたくさんいただき、新たな取り組みにも挑戦しています。



飛騨市ファンクラブ事業実績

年度	主な活動	協力店舗	会員入会者	集いin 東京	集いin 岐阜	集いin 飛騨市	集いin 大阪	バスツアー	部活動	計
H28	会員募集開始	23	199	-	-	-	-	-	-	-
H29	ファンの集い等交流事業開始	44	1,714	56	-	-	-	-	-	56
H30	交流事業拡充	44	902	32	71	16	-	40	-	159
R 1	ふるさと納税からのファンづくり	40	1,701	70	83	35	45	80	-	313
R 2	ネット通販キャンペーン・オンラインイベント	42	1,767	-	-	-	-	-	52	52
R 3	キャンプ部創設・カタログ通販・オンラインイベント	42	3,334	-	40	-	-	-	53	93



ファンクラブの入会特典を大幅に拡充



**会員限定
宿泊特典!**

ファンクラブ会員証が
さるぼぼコインアプリ内で
表示されるように
なりました!

【さるぼぼコインアプリ会員証のおすすめポイント】

1. カードレスだから持ち運びの手間がなし
2. アプリのアドレスを登録で飛騨市の情報をお届け
3. 会員証のデザインは定期的に更新!
4. さるぼぼコインを使ったキャンペーンに参加できます。

- ファンクラブ会員限定のカタログ販売を開始!
送料は飛騨市が負担し、無料!
- 地元金融機関発行の地域電子通貨「さるぼぼコイン」と連携!
- 会員が市内宿泊対象施設に宿泊した場合に、地域電子通貨「さるぼぼポイント」2千円分を付与!

令和4年度は5周年を記念して新たな事業をスタート予定!

★市内2か所、東京都内に1か所
飛騨市ファンクラブサポートセンター
をオープンし、市内で利用できる「おもてなしクーポン」を発行!



会員証や名刺を提示
すると1,500円分割
引クーポンをプレゼ
ント!

★飛騨市ファンクラブネットショップ
開設、お得なネットショップキャン
ペーンを行います!

飛騨市のトモ割

2000円以上のご購入で割

500円 OFFクーポン

★飛騨市ファンの集いやバスツアーも
再開予定

自治体のファンづくりは民間企業や地域に好影響



新規顧客
新規ファン獲得

リスト化

アクション
リピート
ファンのシェア

飛騨市ファンクラブ会員との交流から気づいた「関係人口」



ファンの集いやバスツアーなどを開催しながら、
会員と交流を深めて、約3年。
「スタッフとして**お手伝い**してもいいですか？」
と遠方から飛騨市に来て下さる会員が出現！！

29

飛騨市ファンクラブから生まれた“関係人口”といえる方々



大阪府在住、50代Oさん
公務員をしながら、飛騨市に通う。飛騨関連のイベントにはほぼ毎回参加し、近年はファンの集い、バスツアーでは運営側として参加。古川の観光に来て、飛騨市ファンクラブに入会。集いの参加をきっかけとして熱心な応援者に。



愛知県在住、40代Tさん
大ヒットアニメ映画の聖地巡礼をきっかけに飛騨市を訪れるようになる。お土産屋のスタッフと交流するうちに飛騨市への愛着が深まる。2年半で18回来訪。ファンの集いへの参加、会員証の利用やSNSでの発信を積極的に行う。2020年8月に移住。



石川県在住、40代Yさん
飛騨にはイベントごとに訪れ、地域の方々と接し、美味しいものを食べる。飛騨市の事業に興味をもち、来訪。飛騨市ファンクラブに入会し、現在はヒダスケ!の常連。市民との知り合いも増え、市民と協働してヒダスケプログラム考案も行う。

30

関係人口の定義『観光客以上、移住者未満』



出展：総務省 関係人口ポータルサイト <https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/>

31

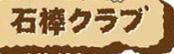
- 『関係人口』って、**地域や地域の人にとって**はどんなメリットがあるの？
- お互いが**心地よく関わる**ためのポイントは？
- 関わりが生まれる**メカニズム**は？
- 飛騨市は**過疎先進地**。他の自治体にも横展開できる事例を作りたい



研究&実験してみよう！

32

地域外の人との【関わりしろ】をつくるために実験！



日本でトップレベルの飛騨米の取引価格を適正にするため、またファンを増やすためことを目標に、クラウドファンディングの挑戦、収穫体験、SNSの発信を実施。

集客に課題があるが貴重な資源の宝庫である『飛騨みやがわ考古民俗館』。1,074本の“石棒”にフォーカスし、新しい手法のPRを考えながら実施。

ファンクラブ会員や楽天社員の意見・アイデアを取り入れながら、会員とのつながりを深めたり、新たな関係性を模索する。市内イベント等のお手伝いプログラムを実施。

地域資源や課題を題材としたファンづくりを推進！



令和元年度「関わりしろ」をつくるため、市のイベント、地域課題を活用したお手伝いをプログラム化

『関係人口』には共通点がある!?



それぞれの強みを活かして、4者で『未来のコミュニティ研究室』を設立。飛騨市ファンクラブやふるさと納税寄附者、全国アンケートを実施し、地域とのつながりについて研究中。楽天社員はプロボノとして参画。

未来のコミュニティ研究室

<p>現地浸透タイプ</p> <p>雪の倉は、の聖地巡礼や現地でのお買い物などで存分に飛騨市を満喫して下さっている方々。</p> <p>「好き」キーワード：味噌煎餅、牛、魅力</p>	<p>魅力伝達タイプ</p> <p>飛騨市のことを市長から自然まで好きでいて下さって、魅力をたくさん伝えて下さっている方々。</p> <p>「好き」キーワード：市長、飯の山</p>
<p>遠隔応援団タイプ</p> <p>飛騨市の人と繋がりをもち、飛騨市のもを購入する等で遠くからでも応援してくださっている方々。</p> <p>「好き」キーワード：食べ物、酒、豊か</p>	<p>お仕事タイプ</p> <p>仕事の繋がりきっかけに飛騨市ファンになってくださった方々。中には移住検討中の方も。</p> <p>「好き」キーワード：人、歴史、親切</p>

『関係人口』になるきっかけやプロセスに共通点があるのではないかという気づきからそのメカニズムについて研究を開始。2019年4月地域振興課に**関係人口係**を設置。

研究や実験からわかってきたこと

沿岸域学会誌, Vol.33 No.3, pp.49-58 (Journal of Coastal Zone Studies) 2020年12月

論文

現代日本社会における「関係人口」の実態分析：全国アンケート調査の結果から

Empirical Analysis on an "Associated Population" in Contemporary Japanese Society: From A National Level Survey Results

杉本 あすひ**・杉野 弘明**・上田 昌子***・船坂 香葉子****
Aoi SUGIMOTO, Hiroaki SUGINO, Shoko UEDA and Kanako FUNASAKA

要旨：超高齢化社会の到来を前に、農山村を含む地域の活性化が喫緊の課題として叫ばれている。この課題解決の一環として「関係人口」の創出と活用が社会的に注目されているが、これについての実証研究はまだ十分でない。そこで本稿は、この実態を客観的に明らかにし、これが地域活性化に貢献すべく今後求められるべき方向について論じることを目的とする。全国600人に對するアンケートの結果、「関わりのある地域（関係圏）」を有していると回答したのは246.4%（うち農村部3.5%、郊外部44.6%、都市部48.6%、農村部11.1%、その他2.2%）であった。関わり方としては伝統的イベント（祭り、祝祭など）を介したものと併に、それらを含みない関わり方も多く存在し、そうした関わりによって高い地域愛着を有する人々が日本全国に存在すること、他方で登録を介した地域に負の愛着を有する人も多く存在することが示された。人と地域の間接性には

現代日本社会における「関係人口」の実態分析 全国アンケート調査の結果から

沿岸域学会誌論文発表 2020年12月

※令和3年度沿岸域学会誌の論文奨励賞を受賞



研究結果や実験のノウハウを地域に還元できるように仕組化②

地域を応援してくださる方と市内の困りごとを解決！
→楽しい・自己有用感が感じられる機会の提供



2020年4月～
ヒダスケ！ー飛騨市の関係案内所ー
→飛騨市が運営



ヒダスケ！ー飛騨市関係案内所ーについて



飛騨市内にある様々な困りごとの解決のために、全国の皆さんの力をお借りして、楽しく交流をしながら支えあいを生み出すマッチングサービスを開始。



プログラムのご紹介【景観保全作業編】



■困りごと
「岐阜の宝もの」にも選ばれる日本の原風景。集落8軒15名。高齢化(56.25%)により、集落では景観保全作業が困難。

■ヒダスケの内容
景観保全のための石積修繕や草刈り作業を実施
→189名が参加し、180㎡を補修し、復活させる。

プログラムのご紹介【種蔵地区作業編】



■困りごと

種蔵地区の景観保全に欠かせない『農業』が高齢化により困難。

■ヒダスケ！内容

- ・みょうが畑の作業である草刈り、間引き、収穫（4月・6月・8月）を参加者と地元の方と行う。
- ・参加者の中で希望する方には、畑の区画を『myみょうが畑』として提供。

→953㎡のみょうが畑が復活！

45

プログラムのご紹介【農業編】



■困りごと

- ・農業の繁忙期は、1～2か月。求人しても人が見つからない。
- ・耕作放棄地が増えている。（全盛期の1/4が耕作放棄地）

■ヒダスケ！内容

- ・誰でも参加しやすい収穫や出荷作業をお手伝いして、**出荷量を増やす。**

プログラムのご紹介【レシピ・広報編】



■困りごと

特産品の発信やブランド化をしたいがノウハウがない。

■ヒダスケ！内容

- ・市内事業者が生産する特産品のレシピ考案や広報や企画をオンラインでお手伝い。
- ・**新聞掲載、SNSでの広報につながる。**



ヒダスケ！の実績（2020年4月～2022年6月の取り組み）



- ・プログラム実施数：137
- ・参加人数：1,117名

ヌシ（主催者）の声

- ・商品を買ってくださる方やクラウドファンディングをしてくださる人がいた。
- ・継続的なつながりが持てた。
- ・人手不足解消の一助になった。
- ・仕事がはかどった。
- ・飛騨を愛する方たちと出会えて楽しい。

ヒダスケ（参加者）の声

- ・地元の方々と交流できて嬉しかった。今後も交流や商品を注文したい。
- ・なかなかお会いできない方に、会えたり、体験ができて嬉しかった。
- ・市民の方のアツい想いを知ることができて共感できた。今後も関わりたい。



地元金融機関との連携

- ・サポートクラウドファンディング：15
- ・総支援者 4,090人 44,886,256円

ヒダスケ！による地域の変化



- ・地域内外での往来・助けあいが生まれ、「お互いさま」の精神で地域の人々が**エリアを超えて助け合う土壌**が育まれている。
- ・交流によって活動に力が入ったり、新たな商品化に**チャレンジする動き**が生まれている。
- ・移住者が**地域の方とつながる仕組み**としても機能。
- ・まちの賑わいが生まれ、**地域の魅力を維持する原動力**になっている。

飛騨市の総合的な「関係人口」事業の発展

いろんな人が関われる**懐の広いまちづくり**
「うれしい！楽しい！面白い！」を追求する活動の展開

関係人口の分類



全国に広めたい！飛騨市モデル【第三者評価】

2021年度グッドデザイン賞受賞



第9回グッドライフアワード
環境大臣賞自治体部門賞受賞



地域課題と地域資源はどの地域にも存在し、どの地域でも実施可能。

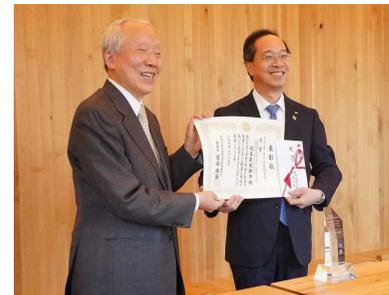
▼受賞評価

多くの自治体や団体が掲げる関係人口の拡大、そのヒントが詰まった素晴らしい事業モデルである。

51

第三者評価を得たことでメディア露出に成功

第22回中部の未来創造大賞受賞



ふるさと名品オブ・ザ・イヤー
地方創生賞受賞



受賞後、関東や関西のテレビやラジオで紹介していただく機会が増える。
 これまでアプローチできなかった層にむけて情報発信ができる。

52

第三者評価を得たことでメディア露出に成功

第1回 まちづくりアワード 国土交通大臣賞 受賞



受賞後、関東や関西のテレビやラジオで紹介していただく機会が増える。
これまでアプローチできなかった層にむけて情報発信ができる。

人口が減少しても「サポーターが増え続ける豊かな地域」の実現

